

<管理職編>

女性の健康をみんなで支える組織・社会をつくる フェムテックでD&I体感型研修

月経・PMS・更年期などの「女性の健康課題」をテーマに、組織や個人の中にあるアンコンシャスバイアスに気づき、組織内でのD&I促進へつなげることを目的とした体感型研修を実施します。

*本プログラムは、経済産業省令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」により実施するものです。

Event Information

日時 2023年1月25日(水)9:00-12:00

参加者 企画経営部の管理職のみなさま

※事前・事後のアンケートへのご協力をお願いします。
※本プログラム受講前に動画を視聴いただく予定です。
「女性の健康課題に関する基礎知識」約10分

フェムテックとは...

FemTech（フェムテック）とは、Female（女性）とTechnology（テクノロジー）をかけた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品（製品）やサービスのことを指す。

ジェンダーダイノベーションズとは...

これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差（生物学的・社会的）に着目して捉え直し、イノベーションにつなげること。

01 講義

「自組織とフェムテック・ジェンダーダイノベーションズ」の相関を学び、女性の健康支援の有効性を再認識します。



株式会社 ライフサカス
代表 西部沙緒里

株式会社 陽と人
代表 小林味愛



02 グループワーク

とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークをおこないます。

03 ディスカッション

「もし私が〇〇な社員だったら…」という仮定のもと、参加者がそれぞれの立場に立ち、自組織の現状・障壁を捉え直し、今後あるべき施策を考えます。

<女性従業員編>

女性の健康をみんなで支える組織・社会をつくる フェムテックでD&I体感型研修

月経・PMS・更年期などの「女性の健康課題」をテーマに、個々人のヘルス・リテラシー向上、セルフケアの実践と、組織内の他者理解や相互支援へつなげることを目的とした体感型研修を実施します。

*本プログラムは、経済産業省令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」により実施するものです。

Event Information

日時 2023年1月25日(水)13:30-16:30

参加者 企画経営部の女性職員のみなさま
(少人数・安心安全な雰囲気の中で実施します)

※事前・事後のアンケートへのご協力をお願いします。

※本プログラム受講前に動画を視聴いただく予定です。

「女性の健康課題に関する基礎知識」約10分

フェムテックとは...

FemTech (フェムテック) とは、Female (女性) とTechnology (テクノロジー) をかけあわせた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品 (製品) やサービスのことを指す。

ジェンダーイノベーションズとは...

これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差 (生物学的・社会的) に着目して捉え直し、イノベーションにつなげること。

01 講義

「わたしとフェムテック・ジェンダーイノベーションズ」の相関を学び、女性の健康理解の有効性を再認識します。



講師・ファシリテーター

株式会社 ライフサカス
代表 西部沙緒里

株式会社 陽と人
代表 小林味愛



02 グループワーク

とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づきを共有するワークを行い、自身の不調の言語化や生活改善の検討、相互理解につなげていきます。

03 ディスカッション

自己・他者の健康課題に対するアプローチ方法の検討や、セルフケアの実践をテーマにディスカッションを行い、それぞれの「明日からの一歩」を考えます。

- 講師プロフィール -

株式会社陽と人（ひとびと）代表

小林 味愛（こばやし みあい）



東京都立川市出身。

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、衆議院調査局入局、経済産業省出向、株式会社日本総合研究所を経て、福島県国見町に株式会社陽と人設立。

福島の地域資源を活かして地域と都市をつなぐ様々な事業を展開。直近では、あんぼ柿の製造工程で廃棄される柿の皮を活用したデリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』を立ち上げ。

第5回ジャパンメイドビューティアワード優秀賞受賞、サステイナブルコスメアワード2020シルバー賞及び審査員賞ダブル受賞、ソーシャルプロダクツアワード2021ソーシャルプロダクツ賞受賞、第9回環境省グッドライフアワード特別賞受賞、サステイナブルコスメアワード2021審査員賞・ダイバーシティ賞受賞、2021年度地方創生賞受賞など数多くの賞を受賞。

商品の販売に留まらず、女性活躍のための研修など様々な活動を行う。2021年3月から復興庁「復興推進委員」も務める。福島放送「シェア」コメンテーター。子育てをしながら福島と立川の2拠点居住。

群馬県前橋市出身。

早稲田大学商学部卒業後、株式会社博報堂をへて2016年、ライフサカス創業。

- ・ 企業内人事・人材開発担当の実務経験
- ・ ビジネスコーチ／キャリアメンターの専門トレーニング経験
- ・ [30代での不妊治療・がん闘病と仕事との両立]の当事者経験をもとに、全国の企業・学校・自治体での研修・講演、コンサルティング業や、アドバイザーとしてプロジェクト伴走型の支援を行う。

その傍ら、「不妊治療や産む・産まない」をテーマにした日本初の実名制ストーリーメディア『UMU』運営。2021年から、同メディア発オンラインコミュニティの運営もスタート。

一般社団法人 かぞくのあした 代表理事
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー
NPO法人 女性医療ネットワーク 理事
群馬県 行財政改革・評価推進委員
群馬県高崎市在住、未就学児二児の母。

株式会社 ライフサカス 代表

西部 沙緒里（にしべ さおり）



運営

株式会社ライフサカス

株式会社陽と人



<https://lifecircus.jp>



<https://hito-bito.jp>